

基本政策 2 交通事故が起きないまちで生活ができる

【基本政策の方向性】

交通安全意識の向上を図ることで交通事故による死傷者数を減少させ、交通事故が起きない安全な“まち”を目指します。

5年後の目指す姿

「交通事故死傷者数の減少」

歩行者、自転車、自動車等のそれぞれが、互いの持つ特性を理解し、事故を防ぐための手段を積極的に実行するなど、市内における交通事故死傷者数の減少を目指します。

【数値目標】	現状値	目標値
交通事故死傷者数	291 名/年 (R1)	⇒ 213 名/年 (R7)

基本施策

2-1 歩行者の安全確保の推進

交通事故死傷者数（歩行者）の減少を目指し、通学路の安全確保や車椅子やシニアカー¹利用者に対する市民の理解と交通安全意識の醸成の支援を行うなど、歩行者の安全確保を推進します。

【KPI】	現状値	目標値
交通事故死傷者数（歩行者）	34 名/年 (R1)	⇒ 25 名/年 (R7)

【主な取組】 多様な移動手段に応じた安全対策の推進

車椅子やシニアカー利用者等も含めた歩行者に対する市民の理解と交通安全意識の醸成を支援するなど、多様な移動手段に応じた安全対策を推進します。

【KSF】	現状値	目標値
歩行者の安全に関する意識啓発の実施	0 回/年 (R1)	⇒ 1 回/年 (R7)

¹ 主に高齢者が利用する、座りながら移動ができる電動車椅子のこと

2-2 自転車の安全利用の推進

交通事故死傷者数（自転車）の減少を目指し、学校や地域での交通安全教室を充実させ、自転車用ヘルメットの着用等、自転車の安全利用を推進します。

【KPI】	現状値	目標値
交通事故死傷者数（自転車）	70 名/年（R1）⇒	51 名/年（R7）

【主な取組】交通安全教室の充実

交通安全意識の向上を図るため、学校と連携した交通安全教室の実施や地域団体主催の交通安全教室の支援、スクアードストレイト技法²による交通安全教育の実施など、警察をはじめとした関係機関と連携し、交通安全教室を充実します。

【KSF】	現状値	目標値
地域団体主催の交通安全教室の実施回数	2 回/年（H30）⇒	3 回/年（R7）

2-3 自動車の安全利用の推進

警察や交通安全関係団体と連携し、ドライバーに対する安全意識の周知啓発や情報発信を行うことにより、交通事故死傷者数（自動車等）の減少を図ります。

【KPI】	現状値	目標値
交通事故死傷者数（自動車等）	187 名/年（R1）⇒	137 名/年（R7）

【主な取組】東入間警察署と連携

県警スローガン「きらめき 3 H 運動³」の周知啓発などを行い、交通安全意識の向上を図ります。

【KSF】	現状値	目標値
広報や HP の掲載回数	0 回/年（R1）⇒	2 回/年（R7）

関連する SDGs ゴール



市全体で交通安全意識を向上させ、歩行時や自転車、自動車運転時のそれぞれで安全対策を促進することで、交通事故による死傷者数の減少に取り組みます。

関連ターゲット（3-6）



交通指導員の立哨や地域住民の方や PTA と連携した活動など、多様なパートナーシップにより通学路の安全確保に取り組みます。（17-17）

関連計画等

関連部署

総務部 安心安全課

建設部 交通・管理課

² 恐怖を実感することで、それにつながる危険行為を未然に防ぐ教育手法

³ 高齢歩行者等の安全確保を目的として、早めのライト点灯、反射材の着用、歩行者保護の 3 つの H を重点に交通事故防止を呼びかける運動